

# 令和6年度 景気動向アンケート調査集計(R7年1月～3月)

## 1. 調査の概要

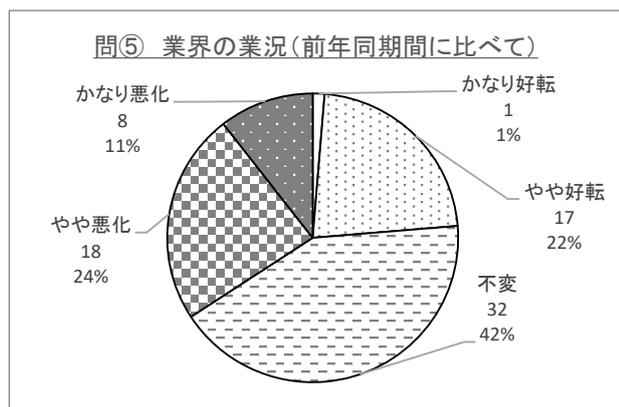
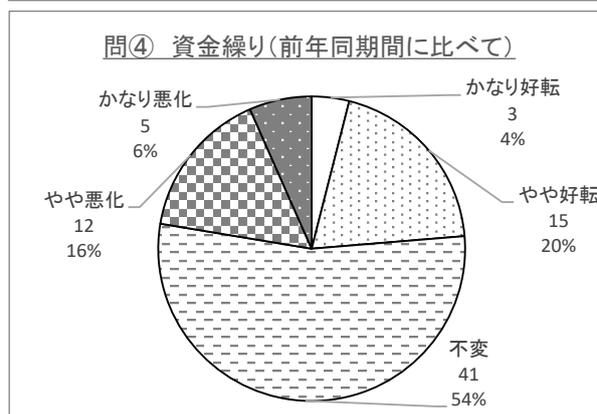
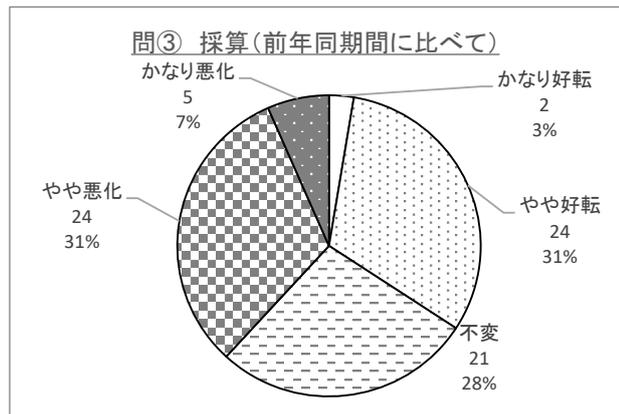
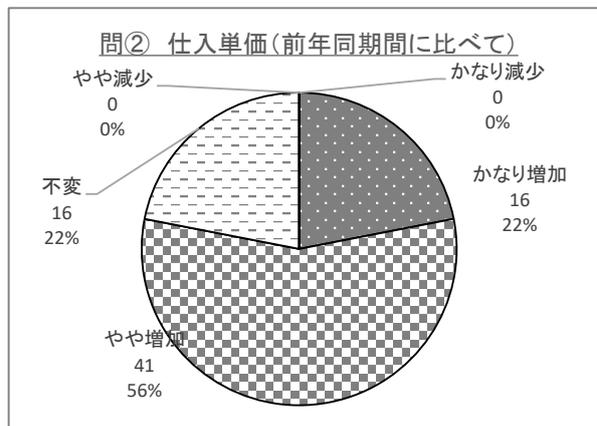
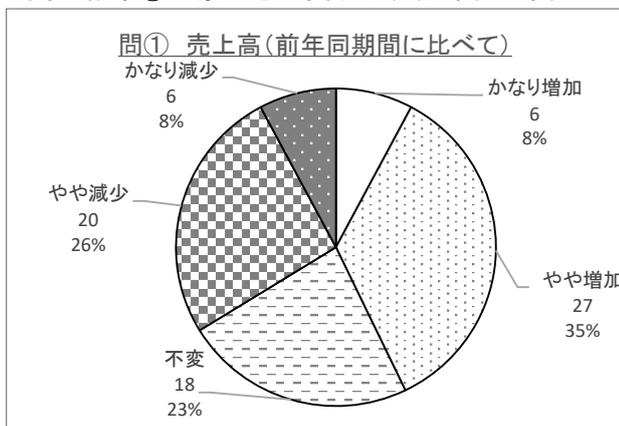
調査目的 : 第3期春日市商工会経営発達支援計画(令和5年3月認定)に基づき、会員事業者の景気動向を調査し、地域中小企業の状況を的確に把握した効果的な経営支援を実施すること、また、地域ニーズに応じた地域活性化事業検討の参考とすることを目的とする。

調査方法 : 連絡手段がメールとFAXで登録されている会員事業者を対象に調査を依頼。

実施期間 : 令和7年4月11日～令和7年4月21日

回答数 : 76事業者

## 2. 調査結果①…景況感に関する項目(問1～問5)



	かなり増加	やや増加	不変	やや減少	かなり減少	D.I
①売上高	6	27	18	20	6	9%
②仕入単価	16	41	16	0	0	78%

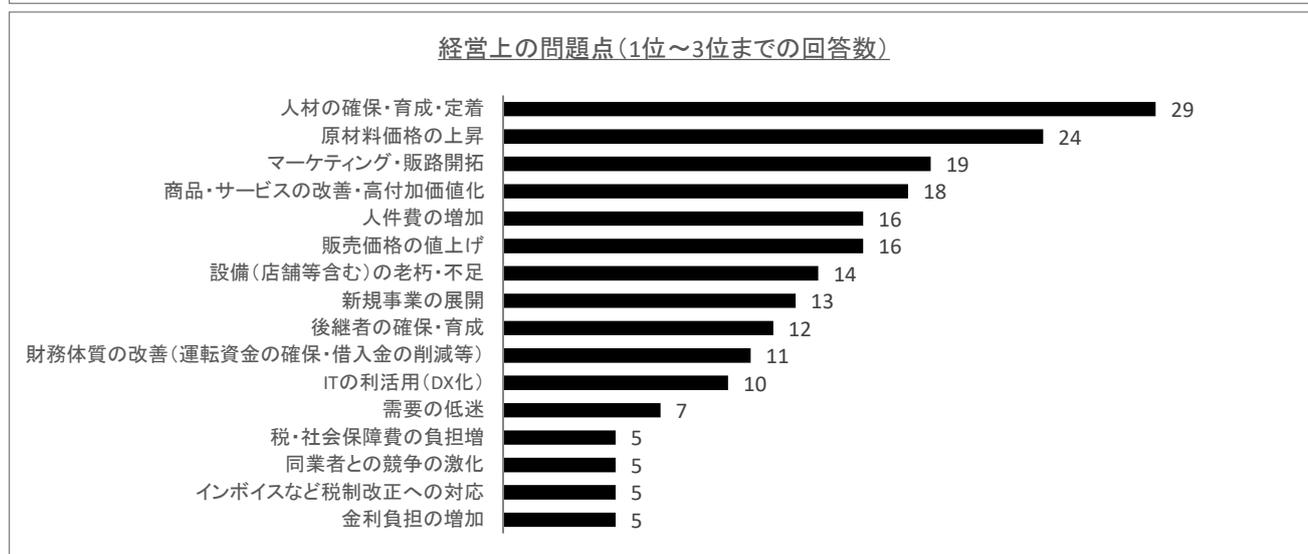
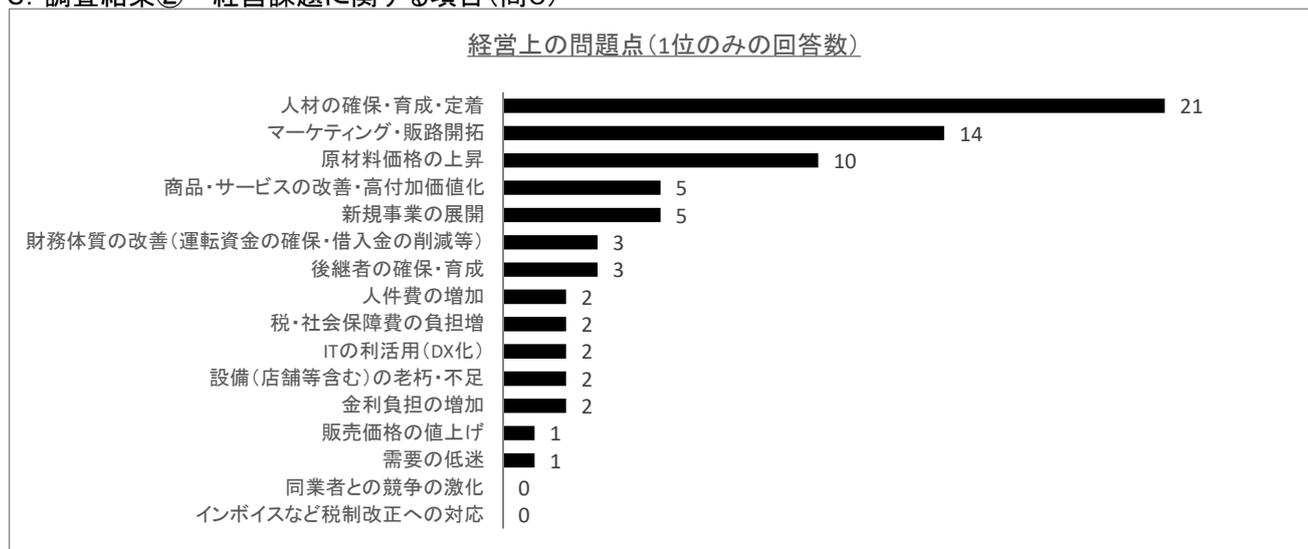
  

	かなり好転	やや好転	不変	やや悪化	かなり悪化	D.I
③採算	2	24	21	24	5	-4%
④資金繰り	3	15	41	12	5	1%
⑤業界の業況	1	17	32	18	8	-11%

【D.I】  
 企業の業況感などの判断を指数化したもの。各設問につき5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答者数を集計し、全回答者数に対する構成比を算出した後、次式により算出する。  
 $D.I = 「選択肢(かなり増加)の構成比 + 選択肢(やや増加)の構成比」 - 「選択肢(やや減少)の構成比 + 選択肢(かなり減少)の構成比」$

- ☑ 売上高について、前回調査結果では45%の事業者が増加したと回答していたが、今回は43%となり、-2ポイントとなった。D.I値としても前回調査結果から-2ポイントとなっている。仕入単価については、増加が78%と高止まりしており、コスト増加がほぼ全業種で共通の課題となっている。
- ☑ 採算においては、かなり悪化したとの回答が7%(前回15%)とやや減少したが、やや悪化したとの回答が31%(前回21%)と増加しており、収益確保が依然として厳しい状況。好転したとの回答は34%(前回31%)となり、割合がやや増えた一方で、悪化したとの回答も依然として多い状況。
- ☑ 資金繰りにおいては、悪化したとの割合が22%(前回36%)と、+14ポイントとなった。好転したと回答した事業者の割合も24%(前回21%)となり、改善傾向が見られるものの、悪化したと回答した事業者も少なくない。
- ☑ D.I値の分析においては、前回調査から、資金繰り(+16ポイント)と業界の業況(+14ポイント)が大きく変化している。

### 3. 調査結果②…経営課題に関する項目(問6)



- 1位のみ)の回答数で、前回は「マーケティング・販路開拓」が最も多い回答だったが、今回は「人材の確保・育成・定着」が最も多くなっている。全体については、「原材料価格の上昇」(前回7件)が大きく増加し、人材・コスト両面の経営課題が一層顕在化している。
- 毎回の調査結果で上位を占める、「人材の確保・育成・定着」「マーケティング・販路開拓」に加え、「原材料価格の上昇」が上位となった。「2番目」「3番目」に重要とした事業者も多く、経営課題の中で存在感が増している。